



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社 新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石 松次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理局长 (氏名) 赤塚 幸 TEL 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,945	△6.4	△31	—	△11	—	16	△71.4
26年3月期第1四半期	4,213	0.4	57	—	80	—	58	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 72百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 4百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.78	—
26年3月期第1四半期	9.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	19,972	13,669	61.7	2,053.57
26年3月期	21,703	13,628	56.3	2,038.18

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 12,319百万円 26年3月期 12,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,988	△6.9	263	△11.7	272	△15.4	147	40.7	24.50
通期	21,013	△5.4	927	△10.1	934	△11.2	477	△45.2	79.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	6,000,000株	26年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	744株	26年3月期	744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	5,999,256株	26年3月期1Q	5,999,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. (参考) 四半期連結財務諸表（個別） .....	9
(1) 個別経営成績 .....	9
(2) 個別財政状態 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政府、日銀による金融緩和策、機動的な財政政策により企業収益や雇用情勢の改善傾向が続くなど、緩やかな景気回復基調が持続しましたが、輸入原材料やエネルギーコストの上昇など懸念材料が残る状況も続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第1四半期における連結売上高は39億4千5百万円（前年同期比93.6%）となり、前年同期に比べ2億6千8百万円の減収となりました。一方で、営業費用は前年同期に比べ1億7千9百万円減少し、利益面におきましては、営業損益は3千1百万円の損失計上（前年同期は5千7百万円の利益計上）、経常損益は1千1百万円の損失計上（前年同期は8千万円の利益計上）となり、四半期純利益では1千6百万円の利益計上（前年同期比28.6%）となりました。なお、今年3月に連結子会社である㈱イタリア軒の全株式を譲渡いたしましたので、前期に比べ連結子会社が1社減っております。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

## [放送事業]

放送事業におきましては、ラジオ収入では、スポット収入が前期を下回ったものの、公開放送の積極的な実施などにより制作収入が伸び、ラジオ収入全体では前期並みとなりました。テレビ収入では、4月の消費税率引き上げによる買い控えを受け、スポット収入の減少はありましたが、タイム収入を中心に後半で盛り返し、テレビ収入全体ではほぼ前期並みとなりました。一方、その他の収入では、前期は5月に実施したハードオフエコスタジアムでのプロ野球公式戦が今期は8月開催となったため、前期を大きく下回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は15億8千6百万円（前年同期比91.0%）となり、営業利益では1億4千6百万円の計上（前年同期比84.3%）となりました。

## [情報処理サービス事業]

情報処理サービス事業におきましては、パソコンのウィンドウズXPサポート終了による機器の買い換え需要が今期に入っても継続したことや病院の電子カルテ導入などで売上は前期を上回りました。その一方、データセンターの委託業務など利益計上が見込める分野での売上が減少したことで、利益面では損失計上となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は21億5千9百万円（前年同期比106.5%）となり、営業損益では1億8千6百万円の損失計上（前期は1億2千6百万円の損失計上）となりました。

## [建物サービスその他事業]

建物サービスその他事業におきましては、施設管理部門で、県外の商業施設の大型工事を受注したものの、不動産部門は減収となり、全体の売上としては前期に届きませんでした。

この結果、当第1四半期の売上高は3億3千4百万円（前年同期比99.7%）となり、営業利益は7百万円の計上（前年同期比41.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は199億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億3千1百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が80億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億8千1百万円減少しております。これは主に現金及び預金が5億5千9百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が24億2千4百万円減少したことなどによります。固定資産では、118億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億4千9百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が1億9百万円、無形固定資産が2千2百万円減少したものの、投資その他の資産が2億8千1百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債が39億1千万円となり、前連結会計年度末に比べて13億7千9百万円減少しております。これは主に賞与引当金が2億3千万円増加いたしました。未払金で12億4千6百万円、短期借入金で2億3千7百万円減少したことによるものであります。固定負債は23億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億9千2百万円の減少となりました。これは主にリース債務が1億2百万円、退職給付に係る負債が1億4千2百万円減少したことによります。

純資産の部では、利益剰余金の減少5百万円、その他有価証券評価差額金の増加3千2百万円、退職給付に係る調整累計額の増加6千5百万円、少数株主持分の減少5千2百万円により136億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて4千万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は61.7%となり、前連結会計年度末に比べて5.4ポイント増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、政府の月例経済報告では景気の緩やかな回復基調が継続しているとの判断がなされているものの、エネルギー価格の高止まりなど景気に対する不安定要因もあり、収益の柱であるテレビスポット広告の動向は不透明感が拭い去れず、楽観視はできない状況と思われまます。

このような景気見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。

以上の見通し及び方針に基づき、業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,246,845	3,806,618
受取手形及び売掛金	5,049,413	2,624,614
有価証券	286,280	226,309
商品	91,185	126,881
原材料	12,855	35,096
仕掛品	194,105	367,466
繰延税金資産	388,302	453,810
その他の流動資産	723,333	462,848
貸倒引当金	△14,607	△7,232
流動資産合計	9,977,714	8,096,414
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	3,049,007	3,013,409
土地	2,227,123	2,227,123
リース資産(純額)	1,404,971	1,298,727
その他(純額)	927,576	960,327
有形固定資産合計	7,608,678	7,499,589
無形固定資産	722,878	700,326
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,005,766	2,358,751
繰延税金資産	804,919	750,931
その他の投資及びその他の資産	625,068	607,204
貸倒引当金	△41,234	△41,194
投資その他の資産合計	3,394,519	3,675,692
固定資産合計	11,726,077	11,875,608
資産合計	21,703,791	19,972,023

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,883,045	1,636,052
短期借入金	1,011,340	774,140
賞与引当金	422,778	653,053
その他の流動負債	972,583	847,129
流動負債合計	5,289,747	3,910,374
固定負債		
長期借入金	1,024,710	956,950
役員退職慰労引当金	292,500	213,280
退職給付に係る負債	295,294	152,356
リース債務	1,035,320	933,162
その他の固定負債	137,235	136,678
固定負債合計	2,785,060	2,392,427
負債合計	8,074,807	6,302,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	12,292,921	12,287,108
自己株式	△499	△499
株主資本合計	12,598,172	12,592,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,553	59,423
退職給付に係る調整累計額	△397,165	△331,892
その他の包括利益累計額合計	△370,611	△272,468
少数株主持分	1,401,422	1,349,330
純資産合計	13,628,983	13,669,220
負債・純資産合計	21,703,791	19,972,023

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,213,264	3,945,081
売上原価	2,955,702	2,813,678
売上総利益	1,257,561	1,131,402
販売費及び一般管理費	1,199,980	1,162,950
営業利益又は営業損失(△)	57,581	△31,548
営業外収益		
受取利息	451	687
受取配当金	24,000	24,713
受取賃貸料	1,554	1,550
その他	9,418	3,270
営業外収益合計	35,425	30,221
営業外費用		
支払利息	8,851	8,476
その他	3,997	1,198
営業外費用合計	12,848	9,674
経常利益又は経常損失(△)	80,158	△11,001
特別利益		
固定資産売却益	—	990
投資有価証券売却益	5,275	—
その他	9,342	—
特別利益合計	14,617	990
特別損失		
固定資産除却損	2,676	1,559
その他	2,730	—
特別損失合計	5,406	1,559
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	89,369	△11,570
法人税等	58,637	13,812
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	30,731	△25,383
少数株主損失(△)	△27,584	△42,067
四半期純利益	58,315	16,684

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	30,731	△25,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,343	32,874
退職給付に係る調整額	—	65,272
その他の包括利益合計	△26,343	98,147
四半期包括利益	4,387	72,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,216	114,827
少数株主に係る四半期包括利益	△27,829	△42,063

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,712,928	2,011,786	265,175	223,373	4,213,264	—	4,213,264
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,931	15,782	8,251	111,939	166,905	△166,905	—
計	1,743,860	2,027,568	273,427	335,313	4,380,170	△166,905	4,213,264
セグメント利益又は損失 (△)	173,850	△126,991	△8,898	18,507	56,467	1,114	57,581

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,568,609	2,139,608	236,863	3,945,081	—	3,945,081
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	18,312	19,733	97,321	135,367	△135,367	—
計	1,586,921	2,159,342	334,185	4,080,448	△135,367	3,945,081
セグメント利益又は損失 (△)	146,581	△186,000	7,635	△31,783	235	△31,548

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 ㈱イタリア軒の株式売却により、ホテル及び飲食事業セグメントが無くなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

## (1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,586	△9.0	146	△15.3	188	△12.9	114	△8.8
26年3月期第1四半期	1,743	7.1	173	82.0	216	61.1	125	36.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.12	—
26年3月期第1四半期	20.97	—

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
27年3月期第1四半期	11,505	9,584
26年3月期	11,383	9,459